

自己評価				学校関係者評価	
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	総合評価	学校関係者の意見
1 鳴門教育大学との連携	I) 大学院生・学部生による授業補助、補習の指導等を通して生徒の学力向上を図る。 II) 大学院生・学部生との関わりを通して、教職を目指す生徒の意識の向上を図る。 III) 大学院生・学部生による部活動の指導や施設・設備の相互利用を推進し、生徒の競技力向上を図る。	<b>評価指標</b> I) ・鳴門教育大学院生によるTT授業や、放課後の「Miraiサポート」(個別補習)を週1回実施し、学習支援を充実させる。 II) ・鳴門教育大学院生のフィールドワークを年間2回(1回15日以上)受け入れ、進学や教職を目指す生徒の意識づけを図る。 III) ・鳴門教育大学の施設・設備の利用や院生・学部生との相互交流等により、各種部活動の競技力向上を目指すとともに、生徒の部活動への意識高揚を図る。	<b>評価指標の達成度</b> I) (評定) II) (評定) III) (評定)	(評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		<b>活動計画</b> I) ・鳴門教育大学院生によるTT授業や、放課後週1回の個別補習「Miraiサポート」を3教科(英語・数学・国語)で実施し、学習支援をする。 II) ・鳴門教育大学院生の担当ホームルームで進路に関する体験談の時間を設ける。 III) ・テニス部、ラグビー部、ハンドボール部等において、鳴門教育大学の施設を利用し、合同練習を行う。	<b>活動計画の実施状況</b> I) (所見) II) (所見) III) (所見)		学校関係者の意見
		<b>評価指標</b> I) ・国公立大学合格者30名以上。 ・本校に進学して良かったと思っている生徒の割合80%以上。 ・本校に進学させて良かったと思っている保護者の割合90%以上。 ・三者面談や学年別PTA等は十分に行われていると思う保護者の割合80%以上。 II) ・進路ガイダンスや進路講演会などの行事が進路意識の高揚につながっていると思う保護者の割合70%以上。	<b>評価指標の達成度</b> I) (評定) II) (評定)	(評定)	次年度への課題と今後の改善方策
<b>活動計画</b> I) ・夏季休業中に三者面談を実施する。 ・年次別PTAを実施する。 ・個人面談を充実させる。 ・補習を充実させる。 ・1・2年次生に対して、校外模試を年5回以上実施する。 ・大学入学共通テストに向けた実践トレーニングを行う。 ・資格取得を奨励する。 ・生徒が主体的に進学先を研究する姿勢を身につけさせる。 II) ・進路ガイダンスを実施する。地元大学、専門学校との連携を強化する。 ・公務員希望生徒対象の説明会を本校で開催実施する。(自衛隊・県警・地方公共団体) ・インターンシップの参加を促す。	<b>活動計画の実施状況</b> I) (所見) II) (所見)	学校関係者の意見			

3 学習指導の改善	<p>I) 教職員の指導スキルの向上に努め、「主体的・対話的で深い学び」の推進を図る。</p> <p>II) 生徒の学習意欲を喚起する指導方法・指導体制の工夫・改善を図る。</p> <p>III) ICT の活用等により、多様な生徒に個別最適化された学びの実現を目指す。</p>	<b>評価指標</b> I) ・先生の説明がわかりやすいと思う生徒の割合90%以上。	<b>評価指標の達成度</b> I)	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		II) ・単位制による多くの科目選択や少人数授業等が充実していると思う保護者の割合70%以上。 ・家庭で予習・復習やテスト勉強を計画的にしていると思う保護者の割合70%以上。	II)		
		III) ・電子黒板や生徒用学習端末等のICTを活用した授業が展開され、学習の理解に役立っていると思う生徒の割合80%以上。	III)		
		<b>活動計画</b> I) ・教員相互の参観授業を年2回実施する。 ・教科会・年次会で学力向上に向けて検討する。 ・高大連携事業を行う。 II) ・多様な学校設定科目を設ける。 ・課題学習の習慣化を図る。 III) ・ICTに関する教職員研修を実施し、計画的に研究授業を実施、全教員がICTを活用した授業を行う。	<b>活動計画の実施状況</b> I)	(所見)	学校関係者の意見
II)	II)	III)	III)		
4 生徒指導の充実	<p>I) 生徒一人ひとりとの関わりを大切に丁寧な指導を通して、教師と生徒の信頼ある関係を構築する。</p> <p>II) 家庭、中学校、関係諸機関との連携を密にすることで、問題行動を未然に防止する。</p> <p>III) 教育相談活動を充実させることで、いじめや不登校などの未然防止・早期発見に努める。</p>	<b>評価指標</b> I) ・校則や決まりを守っていると思う生徒の割合90%以上。 ・校則違反等の特別指導対象生徒5名以下。 ・自転車事故10件以下。	<b>評価指標の達成度</b> I)	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		II) ・鳴門高校生は、校則やきまりを守っていると思う保護者の割合75%以上。 ・学校から配布される書類等が、保護者の手に届く割合80%以上。	II)		
		III) ・教員対象に生徒の学校生活に関するチェックリストを年2回実施。 ・スクールカウンセラーの活用促進。 ・悩み事が相談できる人がいる生徒の割合80%以上。	III)		
		<b>活動計画</b> I) ・生徒指導に関する共通理解を図る。 ・運転免許取得事前講習会5回・自転車マナー啓発運動等を実施する。 ・合格者説明会や入学式において、保護者に生活指導についての理解と協力を依頼する。 II) ・毎月0のつく日に駐輪指導を実施する。 ・集会や立哨指導で交通安全の啓発、指導を行う。 ・交通安全やSNS、公共マナー向上、命の大切さ等に関する講演会を行う。 III) ・スクールカウンセラーや関係機関と連携し、不登校傾向のある生徒や特別な支援を必要とする生徒に対し、適切な支援を行う。 ・教職員対象にチェックリストを年2回実施し、支援の必要な生徒の把握に努める。 ・教職員対象の研修を実施する。	<b>活動計画の実施状況</b> I)	(所見)	学校関係者の意見
II)	II)	III)	III)		

5 特別活動の充実	I) 部活動や生徒会活動を充実、活性化させ、生徒の豊かな人間性の育成を図る。 II) ボランティア活動の推進に努め、豊かな心と地域に貢献できる生徒の育成を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		I) ・部活動および学校行事の活性化を図る。 ・運動部・文化部に対して壮行会を行う。 ・全ての部活動の取組を本校生徒・教職員及び地域の方々に学校ホームページで広報する。	I)		
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	学校関係者の意見
		I) ・競技力や活動内容の向上を図る。 ・運動部、文化部に対して壮行会を行う。 ・部活動の取組を本校生徒・教職員及び地域の方々に広報する。 II) ・セミナーや体験活動の案内をし、振り返りのレポートを提出するよう生徒に働きかける。	I) II)		
6 環境教育・保健衛生対策の推進	I) 校舎内外の環境美化活動を推進し、道徳心や公共心の育成を図る。 II) 学校における保健衛生環境を整えとともに、生徒および教職員の健康管理を徹底する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		I) ・自分のロッカーや机の周りの整理整頓ができていると思う生徒が85%以上。 ・ゴミが落ちていると進んで拾うという生徒が85%以上。 ・校外の清掃活動を通して、地域貢献をした生徒100%。	I)		
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	学校関係者の意見
		I) ・環境委員会を中心にクラスに呼びかけ、全員で取り組むようにする。 ・1年次生の校外活動の1つとして、清掃ボランティア活動を実施する。 II) ・家庭での体温測定と、朝のSHRでの健康観察票への記入・回収を習慣化する。 ・集会等は、オンライン会議システムを利用し、生徒が1か所で密にならないように工夫する。 ・教室・校舎出入口・トイレ等に手指消毒液を設置するとともに、清掃時および放課後を利用して教室や共用施設の消毒を行う。常時教室の窓およびドアは開放し、換気を徹底する。	I) II)		
7 読書活動の推進	I) 教科における学習活動と連携した読書活動の推進を図る。 II) 読書習慣を定着させ、生涯にわたって豊かな人生を送るための資質を形成する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		I) ・各教科・教育活動の一環として図書館を活用するよう、1年次生対象にオリエンテーションを年1回以上行う。 II) ・HR読書会を年1回以上実施して、読書への関心を深めさせる。 ・図書の貸し出し冊数の目標を、年間2000冊以上とする。	I) II)		
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	学校関係者の意見
		I) ・各教科・教育活動の一環として、図書館を活用するよう、新刊紹介や、年1回以上のビブリオバトルを実施して、生徒に働きかける。 II) ・図書委員会を指導し、毎月1回発行する「図書館便り」の内容の一層の充実を図る。各月別のHR貸出数を明記する。 ・長期休業前などに、重点的に生徒への利用呼びかけを行う期間を一週間程度設ける。	I) II)		

8 開かれた学校づくりの推進	I) 教育活動の積極的な公開を推進し、ホームページ等を利用した情報発信の充実を図る。 II) 地域社会、PTA、同窓会との連携を推進する。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		
		評価指標	評価指標の達成度		
9 消費者教育・主権者教育・防災教育の推進	I) 身近な消費生活やエンカル消費について学ぶ機会を充実させ、自立した消費者の育成に努める。 II) 主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力を育成する。 III) 地域と連携した安全・防災教育の推進に努め、災害時における実践力の育成を図る。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	次年度への課題と今後の改善方策
		活動計画	活動計画の実施状況		
		評価指標	評価指標の達成度		
				(所見)	学校関係者の意見

\* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった